

FAX 飛躍

JR東労組東京地本青年部

お客さまからの声聞こえてますか？

京急4駅名 親しみやすく

産業道路

大師橋

1月26日東京新聞

京急電鉄は25日、分かりやすい駅名で、周辺地域の盛り上げを図る狙いで、4駅の名称を2020年3月に一新すると発表した。川崎市川崎区の産業道路が大師橋、横浜市鶴見区の花月園前が花月総持寺、横浜市神奈川区の仲木戸が京急東神奈川、神奈川県逗子市の新逗子が逗子・葉山にそれぞれ変更される。

京急によると、新駅名は公募で小中学生から寄せられた1119件の案を参考に決定。大師橋や花月総

2020年春変更 小中学生の公募参考

持寺では、駅近くにあり、乗客に広く知られたスポットを取り入れた。京急東神奈川はJR東神奈川駅との接続を意識したネーミングとし、逗子・葉山は、保養地としてブランドがある葉山の名前を盛り込むことにした。混乱を防ぐため、駅の看板には旧駅名も併記する方針だ。

京急広報部は「5年後、10年後に変更して良かったと思われるよう、地域と一緒に活性化に努めたい」としている。



1月25日に京浜急行電鉄は4駅の駅名を変更すると発表しました。京浜急行では選考にあたり沿線の小中学生を対象に行った「わがまち駅名募集」において寄せられた意見をもとに、町名、地域シンボル、お客さまの利便性等を総合的に判断し決定したと記者会見やプレス発表で述べられています。JR東日本においても12月4日に品川～田町駅の新駅名を「高輪ゲートウェイ」と発表しましたが、公募で寄せられた新駅名案のうち上位の「高輪・芝浦・芝浜」といった駅名案ではなく、130位の「高輪ゲートウェイ」を選定したことに対して、社会から疑問や、批判の声があがっています。ネット上で呼びかけられている『「高輪ゲートウェイ」という駅名を撤回して下さい』と題した署名ページに寄せられた署名は昨年12月末時点で4万を超える人から賛同が寄せられています。駅が完成する前から反対の声ばかりが聞こえてくる新駅に京浜急行が目指すような「親しみやすさ」は生まれるのでしょうか？

12月14日に発表された3月ダイヤ改正では中央本線の特急列車停車駅について見直しを行うと発表がありました。この見直しについても沿線自治体から反発の声があがっています。観光・産業への影響や地元住民の利便性低下を懸念して、地元自治体や長野県・山梨県の両知事がJR東日本に対して要望書を提出する事態となっています。諏訪地方の自治体からは「事前に十分な協議もなく一方的に(ダイヤの)改正・公表に踏み切った」と批判の声があがり、会社の目指す『地域の活性化』とは真逆と言わざるを得ません！

中央本線沿線自治体からあがっている意見(HPより抜粋)

- ・阿部 守一 長野県知事(1月11日定例記者会見)
「私どもは特急の停車駅数を減らして高速化をしてくれと要請したことはない」
- ・後藤 斎 山梨県知事
「観光産業や県民生活へ様々な影響が懸念され、誠に遺憾」として昨年12月19日にJR東日本八王子支社に利便性向上に役立つようダイヤ改正の見直しを求める県知事名の要望書を提出。
- ・甲州市、山梨市、笛吹市
昨年12月20日にあずさの現行停車駅を維持するように、JR東日本に要望書を提出

お客さまの声に耳を傾けない経営では、お客さまから選ばれない企業になってしまいます！